

議員提出第二号議案

台湾のCPTPP（環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）参加を積極的に支援するよう求める意見書

我が国と台湾とは深い信頼と友情で結ばれており、これまで我が国が大規模自然災害など甚大な被害に見舞われるたび、台湾から多くの物心両面の支援が届けられてきた。また、経済的にも、令和五年の日台間の貿易総額は十一兆円を超え、我が国にとって世界第四位の輸出入先であり、貿易パートナーとしての重要性はますます高まっている。

本県との関係においても、台中市との間で、平成二十七年に観光友好交流連携に関する協定を、平成二十八年には友好交流に関する覚書を締結し、本県議会においても、平成二十七年から約二年間「行財政改革・グローバル戦略特別委員会」において台湾との交流について調査及び提言を行い、平成二十九年三月には大分県議会日台友好議員連盟を設立するなど、様々なかたちで台湾との交流を深めている。また、貿易面ではおおいた和牛や乾しいたけをはじめとする農林水産物などを輸出し、人的交流の面では立命館アジア太平洋大学をはじめとする県内の大学等におよそ百人の留学生在が在学し、外国人宿泊者数では韓国に次ぐ多さであるなど、経済・文化・教育・観光など幅広い分野で深いつながりを持っている。

このような関係にある台湾は、令和三年九月二十二日にCPTPPへの加入を申請している。台湾がCPTPPに加盟することは、環太平洋地域の経済貿易に活力を与え、域内経済に好循環を生み出すことはもとより、我が国としても、経済のみならず、様々な分野における日台協力関係の構築に寄与するものと考ええる。

よって、国会及び政府におかれては、早急に台湾のCPTPP参加を積極的に支援するよう強く要望する。

右、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

令和六年三月二十七日

大分県議会議長 元 吉 俊 博

衆議院議長	額賀福志郎 殿
参議院議長	尾辻秀久 殿
内閣総理大臣	岸田文雄 殿
外務大臣	上川陽子 殿
財務大臣	鈴木俊一 殿
農林水産大臣	坂本哲志 殿
経済産業大臣	齋藤健 殿
内閣官房長官	林 芳正 殿
経済再生担当大臣	新藤義孝 殿